令和 4年度　　事務事業評価表（　令和 3年度　の実績評価）

記入年月日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名	桜井農村公園管理運営事業	事業区分 新規/継続	継続	担当 事務事業No.	040102000862
		単独/補助	単独	所属課	050101 農林課
政策体系 総合計画の施策名	0401 農林業の振興				
政策体系 政策名	04 活力ある産業のまちづくり			課長名	
政策体系 施策名	01 農林業の振興			グループ	農林G
政策体系 手段名	02 ②農業の効率化推進			担当者名	

財務会計上の位置付け

予算科目	会計	款	項	目	事業	細	
	01	06	01	06	02	00	一般会計 農村総合整備事業

事業期間：単年度繰返し　（　年度～）　期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入

法令根拠：桜井農村公園管理運営に関する条例

【Do】 1．事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

手段 ①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
○桜井農村公園の維持管理業務	・場内管理業務委託契約 （肥料散布・除草剤散布・目砂散布・殺菌剤散布・除草　等） ・トイレ排水処理槽保守点検委託契約 ・多目的広場の維持管理（芝刈・散水） ・多目的広場使用に関する申請許可に関する事務 ・農村公園内施設の修繕

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	02年度（実績）	03年度（実績）	04年度（計画）	05年度（目標）	06年度（目標）
・場内管理業務委託契約（多目的広場管理） ・トイレ排水処理槽保守点検委託契約 ・多目的広場の維持管理（芝刈・散水） ・多目的広場使用に関する申請許可に関する事務 ・農村公園内施設の修繕・門扉の開錠施錠	委託契約件数	件	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	芝刈（直営）回数	回	10.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	02年度（実績）	03年度（実績）	04年度（計画）	05年度（目標）	06年度（目標）
桜井農村公園	総敷地面積	㎡	19,600.00	19,600.00	19,600.00	19,600.00	19,600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	02年度（実績）	03年度（実績）	04年度（計画）	05年度（目標）	06年度（目標）
適正な維持管理を行い、施設の長期維持・利用を可能にする。	場内管理委託による管理回数	回	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
	排水処理槽管理回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	使用申請のあった使用件数	件	11.00	12.00	10.00	10.00	10.00

（3） 投入量（事業費）の推移

投入量			02年度（実績）	03年度（実績）	04年度（計画）	05年度（目標）	06年度（目標）	期間限定 総投入量
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	5,982	6,091	5,621			
事業費計（A）		千円	5,982	6,091	5,621			
正規職員従事人数		人	3.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳

03年度事業費 実績（千円）				04年度事業費 予算（千円）			
10 需用費	1,074			10 需用費	652		
11 役務費	275			11 役務費	288		
12 委託料	4,193			12 委託料	4,193		
13 使用料及び賃借料	549			13 使用料及び賃借料	488		
		合　計	6,091			合　計	5,621

事務事業名	桜井農村公園管理運営事業	事務事業№	40102000862	所属課	農林課

（4）この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？　開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

国、県補助を受け農村総合整備事業により平成11年度から着工し、平成19年7月に竣工。
地域の憩いの広場として農村公園を竣工したが、一部市民にはスポーツ施設としての意識が高く管理運営に苦慮している。

（5）この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

誰もが利用しやすい公園にしてほしいやスポーツ専用施設としてほしい等の声がある。

【See】　2．評価の部　　＊原則は事前評価。

評価項目		
現状維持	①政策体系との整合性　（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	桜井農村公園は農村地域の活性化を図るための施設である。
	② 公共関与の妥当性　（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
	妥当である	農村地域住民の安らぎと憩いのある環境づくりを担うため妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地　（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がない	現状ではこれ以上の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響　（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	農村整備事業により国費を用いて整備しているため、適化法に抵触するので廃止、休止はできない。 また、維持管理ができず荒地になってしまう可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性　（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	
	（他に手段がある場合）　具体的な手段、事務事業名	
	余地がない	なし。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	必要最低限の事業費で管理しているため、これ以上の削減余地はできない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地　（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	誰でも利用可能な施設であり、公平、公正である。

【Plan】　3．評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

（1）　1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	■	適切	□	見直し余地あり
②有効性	■	適切	□	見直し余地あり
③効率性	■	適切	□	見直し余地あり
④公平性	■	適切	□	見直し余地あり

（2）　全体総括（振り返り、反省点）

昨年度より、場内芝刈業務を委託により、5月～10月中に毎月2回程度ずつ行った。
業務の効率性や職員の安全面が確保され、また、利用しやすい状況が保て、次年度以降も同様に管理できるようにする。

（3）　今後の事業の方向性

□ 終了　■ 継続　□ 改革改善を行う　□ 廃止　□ 休止　■ 現状維持

（複数回答可）
□ 目的の再設定　□ 有効性の改善　□ 統廃合ができる　□ 効率性の改善　□ 公平性の改善　□ 連携ができる

（4）改革・改善による期待成果
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（5）　改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

（6）事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	⑨

【Check】　4．確認及び改革改善に向けての指摘事項

（1）　課長評価

課長確認後の評価：A

A：継続（現状維持）　C：終了、廃止、休止
B：継続（改革改善を行う）　D：2次評価へ提出

確認欄

（2）　部長確認及び評価　（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）